

# 豊中みどりの交流会

こんな活動やっています！

みなさんのご参加  
待っています！

## 花苗プロジェクト

花苗プロジェクトは、活動拠点である「ふれあい広場 SEED (シード)」において、月2回の活動日があり、種まき、ポット上げと試行錯誤しながら活動し、SEED 内の花壇や地域の公園、公共施設の花壇などへ花を植えています。月1回のミーティングでは、春蒔きと秋蒔きの花の選定をするほか活動方針を話し合います。また、枯葉を集めて腐葉土作りにも挑戦しています。

この活動には多くの人の参加が必要だと思っています。初めて土にさわる人もOKです。

みどり、花に興味のある方、私たちと一緒に活動に参加しませんか。ぜひとも！ご連絡は、公園みどり推進課まで！  
(TEL:6858-2355)



## みどりのカーテンプロジェクト

今年度の「みどりのカーテンづくり」も、皆様のご協力をいただき無事に終了することができました。みどりのカーテンづくりと食する楽しさを体験していただいたことと思います。

次年度も皆様のご協力をいただき、みんなで楽しくみどりのカーテンづくりを楽しんでいただきたいと思います。



## みどりの学習プロジェクト

みどりについて広く学ぶ視点から、ヒント集の作成、見学会などを行っています。皆様にみどりについて学んでいただけるよう、更に取り組んでいきます。たくさんのご参加お待ちしております。

## 地域緑 Book プロジェクト

私たちのプロジェクトでは、みどりの活動をされている団体に体験参加して、地域緑 Book を作成しています。「私たちの活動を取材してほしい」「自分たちの活動を多くの方々に紹介したい」とお考えの団体の皆さん、お知らせください。

みどりだより第23号は、みどりのフォーラム2014特集です。  
今年度のみどりのフォーラムは会場を再び豊中駅前「エトレ」5Fの「すてっぷ」に直し開催されました。メインの講演会場は従来の階段式フロアーから平面式フロアーとし会場を行き来できるようにしました。  
基調講演をお願いした、はたあきひろ様には「園芸の家事化」というテーマでお話しいただきました。身近な話題であり、かつ分かりやすくお話しいただき興味深く聞くことが出来ました。  
「みどりのカーテン」は桜塚小学校の発表がありました。桜塚小学校では当日行事が重なったにもかかわらず発表いただきお礼申し上げます。  
今回も無事終わることが出来た事は、参加者を含め関係者の皆様に深く感謝いたします。

【編集後記】

(池田)

平成26年度 第3回

## 「みどりのつどい」を開催します

日時 平成27年3月8日(日)

10:00~12:00

場所 花とみどりの相談所(豊島公園内)

内容 話題提供

- ・「関西労災病院での取り組みについて」  
ホスピタルパークガーテナー 細川 和子さん
- ・「あすなろ(生活介護)での園芸活動の取り組み  
みどりのカーテンづくり」  
社会福祉法人愛和会 あすなろ生活介護  
主任 仲 和成さん

豊中みどりの交流会次年度活動計画

意見交換 など

お問合せ 豊中みどりの交流会事務局  
(豊中市 公園みどり推進課)  
☎06-6858-2355



豊中みどりだよりは、みんなで、どどん、りょっか(緑化)しよう!という意味を含めて、豊中市でみどり活動を進められている方に向けて発信するニュースです。



Toyonaka Green Action

## 特集 みどりのフォーラム2014



つなげよう人とみどりの“わ”



## 『みどりのフォーラム2014』を開催しました!

■「つなげよう 人とみどりの“わ”」をテーマに10月26日、「とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ」にて開催しました。

おかげさまで、たくさんの方にお越しいただき、盛況のうちに終えることができました。

▼基調講演: はたあきひろ さん(庭暮らし研究所)「掃除、洗濯、ガーデニング! 園芸の家事化で暮らしが豊かになる」

▼報告発表: 豊中みどりの交流会、豊中市立桜塚小学校、豊中市環境部公園みどり推進課

▼パネル展示: 市内小学校(29校: 北条・熊野田・蛍池・刀根山・西丘・庄内・野田・新田・新田南・庄内西・南丘・緑地・豊島北寺内・北丘・豊島西・克明・東豊中・豊島・豊南・東丘・箕輪・桜井谷・桜井谷東・小曾根・野畑・北緑丘・上野大池・原田)、市内保育所(旭丘・高川・小曾根・北緑丘・桜井谷・東丘・原田・野田・庄内西・豊南・栄町・庄内本町)、ゆたか幼稚園、ゆたか保育園、ひかり保育園、春日荘聖マリア幼稚園、豊中文化幼稚園、奥アンツーカ(株)、豊中緑化リーダー会、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21、豊島北ピオトーブクラブ、親和自治会、上野連合花壇同好会、豊中駅前まちづくり推進協議会、親和自治会、せんちゅうみどりの風、豊中親和会みらい、豊中親和会第2みらい、豊中愛和会あすなろ、豊中きらら福祉会きらら作業所、上野デイハウスしもつき、幸楽の里、くらしかん、東豊中地域福祉活動支援センター、高川老人デイサービスセンター、環境センター北部事業所、豊島体育館、消防本部、原田学校給食センター、環境部環境政策室、豊中みどりの交流会 (順不同)

▼体験コーナー: 花苗のポット上げ体験、工作、花苗プレゼント



基調講演 『掃除、洗濯、ガーデニング！園芸の家事化で暮らしが豊かになる』  
庭暮らし研究所 はたあきひろ さん

1) 園芸を家事化する

イギリスで生活していたことがあり、料理の際「ハーブを入れたいな」となったとき、日本ならスーパーに買いに行ったりするが、イギリスでは庭先に植わっているハーブを摘んできて料理に使用する。このように園芸がごく自然的に生活の一部になっている。“趣味”ではなく、“生活”園芸っていうのもあるんだと思った。朝起きて、顔を洗う感覚で、園芸をすることができたら素晴らしいと思う。

2) 我が家で実践している園芸の家事化

「まず、何から育てたらいいの」という質問を多くいただきます。一番おすすめするのが、ネギ。料理につかったネギの根っこを捨てずに空いているプランターにさしておく。2週間ほどしたら成長したネギを収穫して料理に使う。たったこれだけで自給自足ができる。これって特別なことをしているわけではなく、生活の一部として実践できるとても簡単な園芸です。



3) 家事の一部と考える自給自足

趣味ではなく、暮らしの一部として園芸を取り入れる生活をはじめ、考えることより“今できること”からやっているうちに400坪を耕す自給自足農民になっていました。

植物は種から始まり、土・水・光をもらって命として動き出す。その命って、僕たち人間の命と似ている部分があって、そういう命の動きを日常的に感じることができる。これは、1つのプランターでも400坪の田畑でも変わらず、感じることができると思います。

4) 植物や昆虫などとの付き合い方

植物を育てるといのは、子育てに似ているという話を聞いたことがあります。環境（土、水など）を揃えてやれば、自然と自分の力で育っていきます。感性を豊かにし、植物をひとつの命として認めてあげることが大事です。



よく質問されるのは「パンジーを育てているけど、この肥料どう？」といったもの。この質問には「その肥料の臭いを嗅いでみて、自分のそばにこの肥料があったらどうかなあ？と花の気持ちになって考えてください。嫌だったら使わないでください。」と答えています。植物を「物」として捉えるのではなく、「命」として捉えてあげる。たとえ言葉は交わしていなくても、相手の気持ちになって考えることで対話することができる。これは人と人の関係でもとても大切なことです。

5) 私が考えるこれからのライフスタイル

園芸って人間が自然界と関わる為の入口だと思います。先日、地域のコミュニティガーデンの相談を受けた時、「皆様で考えて、工夫して、皆さんのペースで楽しくやってください。」と答えました。意見を出し合うことで、人のつながりもでき、ガーデンの出来上がりだけでなく、皆で育てていくプロセスも楽しむことができます。

園芸って特別なものではない。僕と同じような生活をしている地域の方たちとよくお話しをするのですが、僕よりも20歳も30歳も年上の人でも無理なく楽しんでやっています。皆さんも感性を豊かにして、楽しくみどりに携わっていただければと思います。

●はたあきひろさん（庭暮らし研究所）

庭暮らし研究者。  
2014年夏、大手住宅メーカー設計部を退社し、奈良市で自給自足生活をおくりながら、ガーデニングと豊かな暮らしを提案する「庭暮らし研究所」主宰。  
著書「現役サラリーマンの自給自足大作戦～菜園力で暮らしが変わる～」が翻訳され台湾で発刊される。NHK 趣味の園芸やさいの時間テキストの連載を担当。NHK テレビでもガーデニング講師として毎月出演中。樹木医でもある。



『緑のカーテン作りを通して』 桜塚小学校

4年生理科の学習で「季節と生き物」があります。単元の目標として「季節ごとの動物の活動や植物の成長について興味・関心をもって追求する活動を通して、動物の活動や植物の成長を環境とのかかわりについての見方や考え方を持つことができるようにする。」があげられる。この学習の一つとして、桜塚小学校では「緑のカーテン作り」に取り組んできました。

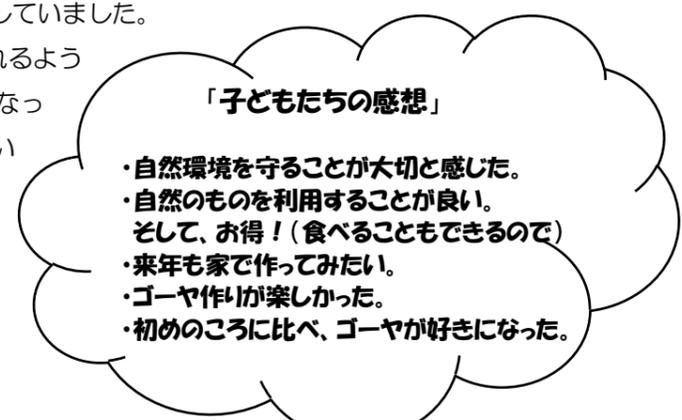
種まきから活動を始めていきました。班ごとに担当する苗を決め、苗植えや水やりを行っていきました。「とにかくたくさん水をあげることがコツ」ということだったので、毎日たくさん水やりをしました。初めはなかなか伸びていかず、どうなるかと思いましたが、6月、7月になるとつるはどんどん伸び、大きな緑のカーテンができました。カーテンの中と外とは温度がぜんぜん違うことにもびっくりしました。黄色いきれいな花が咲き、そのあとに実（ゴーヤ）がなりました。ゴーヤは大きく成長し、数もたくさんできました。夏休みに一番多く収穫できましたが、休業中ということもあり、4年生みんなにゴーヤを配布することは難しかったです。プール開放に来ていた子どもたちに持って帰ってもらったことが多かったです。



2学期になってからもゴーヤはなり続け、たくさん収穫することができました。ゴーヤの苗を植えていたころにはゴーヤがきらいで「いらない」と言っていた子どもがたくさんいましたが、2学期にはほぼ全員が持って帰りたいという気持ちになっていました。ゴーヤを色々な方法で調理して、食べてみると思っていた以上に苦くなくおいしかったという感想もたくさんあったことと、自分たちで育てたということもありゴーヤに対する思いが変わったように思われます。

10月頃にはゴーヤもオレンジ色に変わり、熟し始めました。ゴーヤがオレンジ色になること、種が赤く、種の周りが甘いなど初めて知ることがたくさんあり、子どもたちも感動していました。

「緑のカーテン作り」の取り組みの中で、ゴーヤが食べられるようになっただけでなく、環境のことも少しは考えるきっかけになったようです。「緑のカーテンがあれば、クーラーをつけなくていいから来年自分の家でも作りたい！」や「ゴーヤは食べられるし、部屋は涼しくなるし、一石二鳥や！」などの感想もたくさんありました。



「子どもたちの感想」

- ・自然環境を守ることが大切と感じた。
- ・自然のものを利用することが良い。そして、お得！（食べることもできるので）
- ・来年も家で作ってみたい。
- ・ゴーヤ作りが楽しかった。
- ・初めてのころに比べ、ゴーヤが好きになった。

ー ゴーヤ料理にチャレンジ！ ー

- ・ゴーヤチャンプル  
卵を入れることで甘みがでておいしかった。
- ・ゴーヤチップス  
揚げることで苦味もなくなり食べやすかった。
- ・ゴーヤやきそば  
濃い味付けでもゴーヤの味がしっかりしていておいしかった。
- ・ゴーヤのはちみつしょうゆ漬け  
甘辛い味付けでおいしかった。



ゴーヤチャンプル以外にも料理がたくさんあることにびっくりした。自分たちで育てたゴーヤはおいしくて、ゴーヤが好きになりました。